

「科学的な論文」の書き方

—その社会的・思想的背景を交えて—

講師

おぐま えいじ

小熊 英二

慶應義塾大学総合政策学部教授。学術博士。
社会学から日本近現代の研究に従事。
主な著書に『単一民族神話の起源』（新曜社、
1995年、サントリー学芸賞）、『＜日本人＞の境
界』（新曜社、1998年）、『＜民主＞と＜愛
国＞』（新曜社、2002年、大仏次郎論壇賞、毎日
出版文化賞、日本社会学会奨励賞）、『日本社会のし
くみ』（講談社、2019年）、『基礎からわかる
論文の書き方』（講談社、2022年）、A Genealogy
of 'Japanese' Self-Images (Transpacific Press,
2002) など。



概要

近年、自然科学のみならず人文・社会科学においても、科学的な論文の書き方が求められるようになってきている。その「書き方」のみを表面的に学ぶのではなく、その社会的・思想的背景を理解した方が、なぜその書き方をする必要があるのかが理解できる。また、学問分野によって一定の書き方が適合しない場合はどうするのかも、よりよく考えることができる。本講演は、こうした視点から「科学的な論文の書き方」をより深く考えることを目指す。

日時

2023年11月6日(月) 16:30 – 18:00

開催形式

オンライン (Zoom)

※新任教員研修
プログラム対象

申し込み

<https://forms.office.com/r/M54f0f99Qw>

問合せ先

広島大学 ライティングセンター
Email: wrc@hiroshima-u.ac.jp

→
こちらからも
申し込みが
できます

